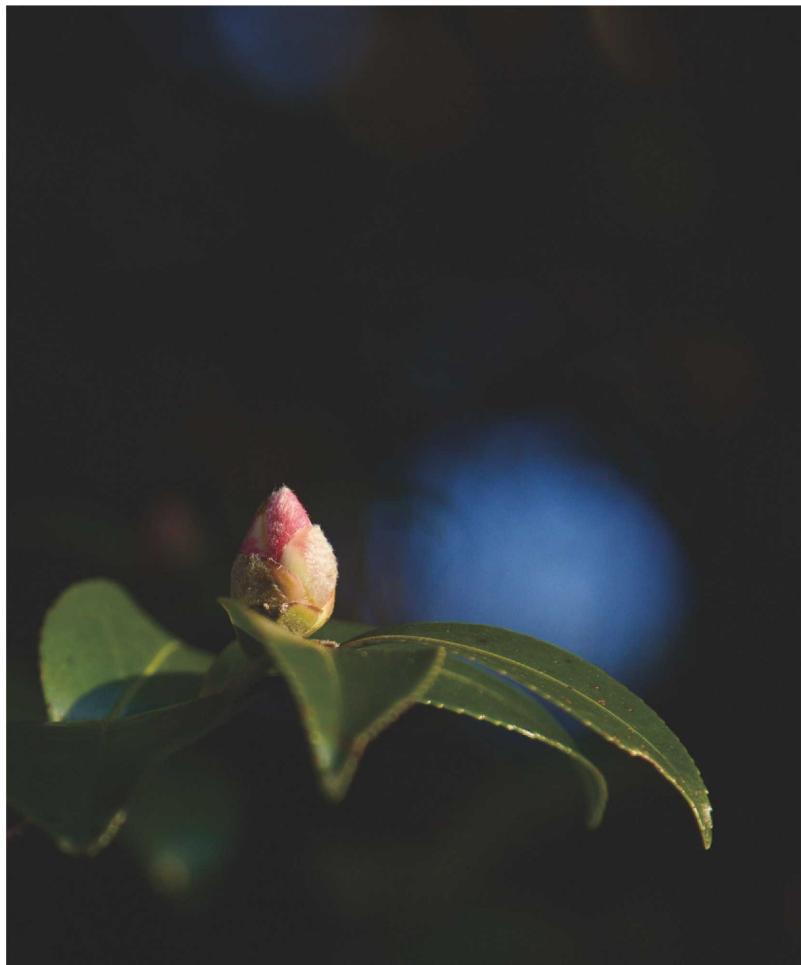
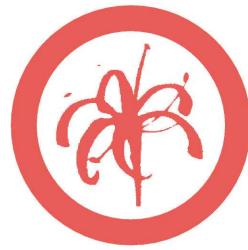


はまYU



「朝日に浮かぶ山茶花」

撮影者：訪問看護ステーションたんぽぽ理学療法士 久保 良太

整形外科外来

診療日／月曜日～金曜日 午前
木曜日 午後（予約制）

受付時間／午前8時半～11時半

診療時間／午前9時～12時

担当：
橋村 剛 医師
杉林 遼一 医師
岩切健太郎 医師
岡野 匠志 医師

外科／消化器外科外来

診療日／月・火・木・金・土曜日 午前
水曜日 15時～（予約制）

受付時間／午前8時半～11時半

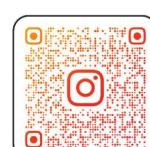
診療時間／午前9時～12時

担当：
加藤 俊治 医長
高見 尚郁 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院（一般病棟1・リハビリテーション病院・慢性期病院）機能種別版機能評価項目3rdG:Ver.2.0



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

CONTENTS

理念・基本方針 2

新年のご挨拶 3～4

新採用医師のご紹介
表彰について 5

診察室からのお話～消化器外科のご紹介～ 6

各部署から～心理相談室のご紹介～ 7

冬の感染対策について 8～9

富田地域の患者送迎サービスについて 10

一週間のバランス献立 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

理念

基本方針



私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業をご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。

皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

(1) 地域医療を主体とする病院の管理運営

(2) 救急医療の実施

(3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施

(4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供

(5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進

(6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業

(7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営

(8) 訪問看護ステーションの管理運営

(9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発

(10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究

(11) その他、この法人の目的を達成するための事業

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もししくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内

公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局

TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

皆様あけましておめでとうございます

白浜はまゆう病院
院長 辻本 登志英



私たちの財団・病院は、白浜町の皆さんのがんばりが元気な時も病める時もいつでも、最後まで安樂に過ごしていただけるように医療・ケアを提供する使命を持っています。本年も白浜町の皆さんのお役にたてるよう、職員一同力を合わせてがんばりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

2023年は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更となり、外来や入院での患者さんへの対応が変わりました。それまでの対応から簡素化された部分もあり、以前に比べて患者さんにも職員にもある程度負担は軽減されたかも知れません。しかしインフルエンザウイルスよりも感染力の強いウイルスであることは変わらず、病院内で感染が多数発生した場合には入退院の制限や業務縮小を行わざるを得ないこともあります。これによって町内近隣の皆さんにはご迷惑をお掛けしたことが一度ならずあり、町の病院として大変申し訳なく、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、今年の財団目標を考えるにあたり、少し長い目で白浜町の将来を考えてみます。現在白浜町の人口は2万人を切っており、65才以上の高齢者人口割合は40%です。それでは今から15年後はどうなるでしょうか？2040年に人口は1万5000人となり高齢者人口割合は46%になります。これだけをみるとほど高齢者が増加するのだなということしかわかりません。しかし、これを労働人口（15才～64才）と対比させて実際の人口で比較しますと、2025年は高齢者7800人に対して労働人口は9600人です。ところが2040年は高齢者7200人に対し労働人口は6900人となります。つまり高齢者人口は減少するものの労働人口はそれよりもさらに少なくなります。これは高齢者を支える若い世代への負担が大きく増加するということを表しています。

この予想から言えることは、これから先いかにして若い世代の負担を少なくして、高齢化した社会で誰もが心配なく暮らせる仕組みを作り上げることが必要となります。これに対して私たちのかかわる医療分野においては、3つの方策があると思います。

一つは高齢者を労働人口に組み入れることです。これは定年延長や再雇用など、働く人の世代の上限を上げることで、今もすでに取り組まれ始めていることでもあります。

二つ目は高齢者の健康寿命をのばすことで若い世代の負担を減らすことです。これは健診・ドックやリハビリテーションの役割が大きくなります。

三つ目は医療・介護・福祉の集約化です。人口の減少は病気の絶対数減少につながります。そうすると専門性の高い疾患はこの病院で治療、リハビリテーションはこの病院でなどという、病院ごとの機能分担が必要になります。また介護・福祉については、目標が同じであるなら施設の規模は大きければ大きいほど効率的に運用することが可能です。この3つのことから考えますと、当財団・そしてはまゆう病院の進むべき方向が見えてきます。白浜町の皆さんのために役立つ病院を大目標としてすでに実行していることがあります、本年を皮切りとして今後次のようなことを実現させてゆきたいと考えています。

- (1) 白浜町の皆さんの急病や慢性病は必ずまず当財団・病院で診ます。当院で行える治療であれば当院で、また専門治療が必要であれば他の病院施設を紹介します。急性期を過ぎれば再び退院までを当院でみる、という仕組みを作ります。
- (2) リハビリテーション治療ははまゆう病院が紀南地方の中心となるよう充実させます。
- (3) 健診・人間ドックは元気な皆さんのが寿命を延ばすための手形ですので、人材機材を充実させてさらに大きくしたいと考えています。
- (4) 介護・福祉は、当財団が地域のセンターとなることを目標とします。

この4つを達成することを目標に、現在白浜はまゆう病院は入院される患者さんや外来患者さん、そして利用者の皆さんへのサービスをより充実させるため、病院機能をより密にコンパクトにしているところです。そして財団職員は患者さんや利用者の皆さんに十分なサービスを提供できるよう日々努力しています。しかし皆様方には折りに不便をかけたり、行き届かないところがあつたりすることもあるかと思います。もしこのようなことがありましたら、改めるべきところは遠慮なく指導していただくようお願いいたします。そして何よりも良いところがありましたらどうかたくさん褒めてあげて下さい。そうしていただくことで、職員のモチベーション・やる気が格段に上がると信じています。この財団・病院を皆さんのお手で育てて頂きますようお願いいたします。

財団・病院が皆さんに行う医療は、「ひと」と「もの」で決まります。「ひと」の力で「もの」をうまく使えば、皆さんには最良の医療が提供できます。毎年、時代に合った医療機器を購入・更新することと並んで、「ひと」の教育は終わりのない課題であります。「もの」としての医療機器導入などについては継続して投資の必要な事業であり、財団の努力は当然として、町からの支援もお願いしているところです。

当財団・白浜はまゆう病院は地域密着型の施設として、質の高い「良い医療」「良いケア」を提供することが使命です。どのような状況であっても「良い医療・良いケア」を提供するために職員一同仕事に「楽しみ」と「やりがい」を見つけ、1人1人がプロフェッショナルを意識して取り組みます。

皆様方には今後も変わらぬご指導、ご支持を頂けますようお願いいたしまして、新年に当たってのご挨拶とさせていただきます。

新採用医師のご紹介



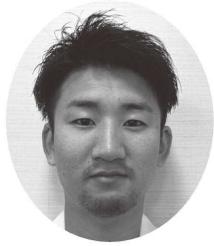
すぎばやし りょういち

杉林 遼一 医師

整形外科

大阪公立大学附属病院から赴任しました、後期研修医の杉林遼一と申します。短い期間ですが、専門分野だけではなく様々なことを吸収し、地域に還元できるように精進いたします。

どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



たかみ なおふみ

高見 尚郁 医師

消化器外科

京都府立医科大学附属病院 消化器外科より 12 月から赴任致しました、高見尚郁と申します。4 か月間と短期間ですが、白浜の皆様に貢献できるよう精進致します。どうぞ宜しくお願ひいたします。

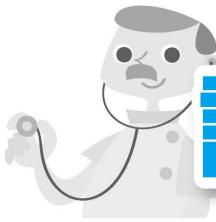
松本潤内科部長が和歌山県知事表彰を、 船曳秀日置診療所所長が学校保健功労者表彰を受賞

このたび、松本潤内科部長が長年にわたり地域の救急医療の確保に貢献し、その功績が特に顕著であると認められ、2023 年度救急医療功労者に対する和歌山県知事表彰を受賞しました。



また、船曳秀日置診療所所長が 15 年以上の長きにわたり、学校保健及び学校安全の推進に尽力し、その功労が認められ和歌山県学校保健連合会より 2023 年度学校保健功労者表彰を受賞しました。

これもひとえに地域の皆さまのご理解と温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後とも患者様やご家族の方お一人お一人と向かい合い、質の高いサービスの提供に努め、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに邁進してまいります。



診察室からのお話

～消化器外科のご紹介～

明け方の寒さも益々増してきた今日この頃、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

2022年4月から消化器外科医長を務めさせて頂いております加藤 俊治と申します。

当院では、ケガなどの救急対応をしているのに加えて、盲腸や胆石、脱腸の手術、大きな手術になると胃癌や大腸癌の手術を行っております。

特に胃癌や大腸癌の手術の際には、京都府立医科大学消化器外科の内視鏡技術認定医とともに手術を行い、日本においてトップレベル、また世界においてもトップレベルと言っても遜色ない手術を行うようにしております。

ここで、母校である京都府立医科大学の話をさせていただきますと、大学の理念に「世界トップレベルの医療を地域へ」というものがあります。

それは、元々京都府立医科大学（病院）の成り立ちが、明治5年に府民がお金を出し合って作ったもので、地域のための病院であったことによります。

そこに世界トップレベルの医療を届けようという大学設立の目的があったのです。白浜はまゆう病院と京都府立医科大学消化器外科のつながりは、白浜はまゆう病院開院時からで、今年で30年にもなります。

長いつながりがあるこの白浜はまゆう病院でも、「世界トップレベルの医療を白浜へ」この理念のもとに医療を行っていけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。



消化器外科 医長
加藤 俊治

各部署から



～心理相談室のご紹介～

心理相談室の紹介をさせていただきます、公認心理師の森口です。公認心理師という資格をご存じでしょうか。まだまだなじみのない資格だと思いますが、2017年にできた資格で、日本で初めての心理職の国家資格です。それ以前は心理職の主な資格としては臨床心理士というものがありました。まだこちらのほうが聞いたことがある方も多いのではないかと思います。

心理相談室では相談に来られた方のお話をじっくりとお聞きして、今抱えておられる悩みや苦しみについて、その解決方法と一緒に探していくという支援をいたします。家庭内での悩み、職場や学校での人間関係について、自分の性格や生き方についてなど、様々な悩みや問題があるでしょうが、そのときの状況やその人によって答えは変わってきます。相談に来られた方が自分なりの答えにたどり着けるよう、共に考え、支援させていただきます。

また、入院されている患者さん、そのご家族、関係者の心の支援もさせていただいております。病を抱えるということはそれ自体が精神的な負担になるかと思います。また、入院するということはそれまでの生活が大きく変わることになり、ストレスを感じることになるでしょう。入院生活の中でもその人らしくいられるように、心理面からサポートさせていただきます。

カウンセリングを受けるということはまだまだ社会に浸透しておらず、壁が高いものと感じられるかと思います。しかし、身近な人にはなかなか相談しにくいこともあるかと思います。自分ではどうしたらいいかわからないが、人にも相談しにくいということがありましたら、心理の専門家である公認心理師を利用していただければと思

います。心理相談室では秘密は厳守します。また、安心した空間でお話を聞かせていただきます。今、何か悩みを抱えておられましたらぜひ一度、話をしにお越しいただければと思います。カウンセリング受けたいけど・・・と悩まれる場合は電話で心理相談室にお問い合わせください。お待ちしております。



心理相談室主任公認心理師
森口 浩司



冬の感染症対策について

感染対策の具体策のお話は、コロナ禍の経験からみなさんもう聞き飽きておられるかと思いますので、今回は、感染症からもっと視野を広げて人々の健康や今を生きる人の責任についてまでお話してみようかと思います。

新型コロナウイルス感染症を例にとってみると、「感染するのか」「発症するのか」「重症化するのか」「死亡するのか」などはウイルスという「他者の問題」ではなく、最終は自分の免疫の力によって決まります。にもかかわらず、根本的な自己の力を高めるよりも、「人との接触を避け」「消毒をし」「マスクをし」「ワクチンを打つ」という他者に偏った対策を、私たちは4年近くも続けてきました。もちろん、こうした他者を軸とした対策は感染を防ぐ効果が少しは期待できますが、しかし、これは一方で、私たち自身の免疫力・抵抗力を落としてしまうという側面がありますので、根本的な対策であるとは言えません。結果、マスク着用率、ワクチン接種率世界一位とも言われてきた日本ですが、感染の拡大がその後も続いてきたことは、みなさんが経験してきたとおりです。何かに頼ること以上に大切なことは、病気に対する自らの力を上げること、すなわち主体的な病気への対策だと私は思います。感染対策だけに言えることではないですが、何事も「人任せ」にしすぎるのは問題だと思います。

では自ら主体的にできる感染症の予防とはどんなものでしょうか？主体的に防御力を高める点において、①まずは睡眠不足を避けること、そして冬の時期は②室内の加湿に注意すること。乾燥は鼻、喉の粘膜を保護しているバリア機能を落とします。③体に取り入れる食べ物に気を配ることが大事だと思います。

次に実際感染した場合はどうするべきでしょうか？まずは布団にくるまって寝て、体温を上げましょう。免疫細胞は体温が高い方が活発に働けますし、外から侵入する病原体はそもそも高温が嫌いです。感染対策のスタートダッシュがちゃんと切れるように我々の体が熱を出しているのですから、それに従って無理をせず、体を暖かくして休んでください。薬を飲んで症状を抑えて動き回ると、病原体の除去に時間がかかり、重症化の引き金となってしまいます。食べる量はほどほどでよく、水分不



泌尿器科部長
感染対策委員長
木村 泰典

足とビタミン不足の状況にならないよう注意をしてください。免疫細胞は血液・リンパ液に乗って体中を駆け巡るので水分は十分必要ですし、そして免疫細胞は動き回るのにビタミンを欲しがるものなので、この時期の和歌山県の柿やみかんは免疫細胞をサポートするにはうってつけの食べ物で、特におすすめです。新型コロナを経験したことで理解された方も多いと思いますが、風邪の多くは原因がウイルスで、ウイルスに効く特効薬はないと言っても過言ではありません。結局は患者さん自身の自然治癒力が風邪を治しているのであって、自分の力が健全に働いていれば、ほとんどの場合、病気は治っていくのです。

最大の病気予防法は、特別なものを食べたり、何かを行ったりすることではなく、「毎日の繰り返しの生活をなるべく自然なものにすることにより、からだ本来の働きを高めておくこと」だと私は思います。食事や生活に関してだけでなく、仕事や教育についても同じで、なるべく広い視野で物事をとらえ、自分のできる範囲で無理になり過ぎないように、楽しんで、継続して行えるように、自らの意志で工夫して実践することが大切だと思います。もしされで大病をしたとしても、主体的に考え、納得して、自分で選択・工夫してやってきたことであれば、後悔はないはずです。

普段、患者さんと接したり、人と話をしたりしている中で感じるのは、多くの人はすぐ前の結果だけを求める傾向が強いということです。本当は自分のことだけではなく、子供や孫、家族、地域、日本そして世界にまで視野を広げて、先のことを見通して考えるのが今を生きる人間の責任と思います。人間だけでなく、動物、植物、微生物、さらに地球にとってよいことは、自分の健康にとってもよいことになると思います。人の体を作り、健康に生きていくものとなるものは、日々の生活にこそあると言えるのではないでしょうか。



富田地域の患者送迎サービスを行っています



2023年11月1日より白浜町の協力を得て、西富田地域(堅田・才野)を除く富田地域(中・栄・平・保呂・内ノ川・庄川・平間・十九瀬・富田・椿)で患者送迎サービスを行っておられます。

送迎内容は、前日の17時までに明光タクシー(株)へ「配車予約の電話」をいただきますと、患者さんの「診療予約時間」に合わせて、乗り合わせの時間の調整を行ってお迎えに伺います。乗り合わせ運行となりますので、お待ち時間が生じます。また、患者さんの診療後のご自宅への送りにつきましても、患者さんより明光タクシー(株)に「配車予約の電話」をいただき病院の玄関にお迎えに伺います。帰りにつきましても乗り合わせ運行となりますので、待ち時間が生じます。ご了承ください。

対象となる方は、公共交通が不便で通院困難な方、家族等による送迎が困難な方、普通自動車に乗降できる方で自立歩行ができる方などとなっております。

運行時間は、月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)の8時から13時までで、ご利用は無料となっております。

- ・予約の申し込み先 明光タクシー(株) 電話番号:0739-42-2727
- ・予約受付日 月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)
- ・予約受付時間 8時30分～17時00分
- ・料 金 無料

【お問い合わせ先】

○ 明光タクシー(株)

電話番号 0739-42-2727
時間(平日) 8:30～17:00

○ 白浜町役場住民保健課

電話番号 0739-43-6585
時間(平日) 8:30～17:15

○ 白浜はまゆう病院医事課

電話番号 0739-43-6200
時間(平日) 8:30～17:30

※ 是非、お気軽にお問い合わせ下さい。



一週間の バランス献立



管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。

食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。

1週間を目安に色々な食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。

組み合わせことで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

食養科
古井 啓詞

栄養素の豆知識 ビタミンB6について

- たんぱく質の分解を助ける役割があります。
 - 肝臓に脂肪が蓄積するのを防ぎます。
 - 免疫機能の正常な働きの維持、赤血球のヘモグロビン合成に欠かせない栄養素。
- 多く含む食品:赤身、鶏肉、マグロ、バナナ、生レバー、カツオなど

朝

昼

夕

日	米飯・味付海苔・キャベツの煮物 味噌汁・牛乳 	米飯・肉団子の甘酢あんかけ 卵とじ 春雨サラダ 	米飯・カレイの焼き浸し 揚げ出し豆腐 ほうれん草のごま和え・果物
月	ロールパン マーマレード ミネストローネ・牛乳・果物 	米飯 鶏もろみ焼き・五目煮豆 キャベツおかか和え 	米飯・鯖の塩焼き 抹茶ミルクゼリー 茶碗蒸し・白和え
火	米飯・ふりかけ・炒り卵 味噌汁・牛乳 	五目あんかけ焼きそば 果物 れんこんきんぴら 	米飯 豆腐ふくさ焼き 南瓜含め煮・もやしの辛子和え
水	ロールパン メープルジャム 青しそサラダ・牛乳・果物 	米飯・タラの香味焼き 高野豆腐含め煮 うまいなのお浸し 	米飯・さつまいもコロッケ 白菜の炒め煮・カニカマのサラダ
木	米飯・味付海苔 キャベツソテー 味噌汁・牛乳 	米飯 豚肉のしょうが焼き 里芋含め煮・ゆず大根 	米飯 鮭の幽庵焼き かき玉汁・シーフードサラダ・果物
金	ロールパン・ジャム スクランブルエッグ 牛乳・果物 	米飯・クリームシチュー 厚揚げ煮物 ほうれん草のおかか和え 	米飯・サワラの山椒焼き キャベツのピリ辛炒め いんげんごまよごし
土	米飯・ふりかけ 牛乳・チンゲンサイの中華煮 味噌汁 	米飯・サバの味噌煮 豆腐のかにあんかけ カリフラワーのレモン風味サラダ 	米飯・エビとがんもどきの炊き合せ 白菜のフレンチサラダ かぶさっぱり漬け

朝食は、脳を活性化させることで身体を覚めさせ役割や睡眠中に低下した体温を高める効果があります。朝食はきちんと摂りましょう。

レンコンにはビタミンCが多く含まれております。本来ビタミンCは熱に弱いですが、レンコンに含まれるでんぶんがビタミンCを熱から守る為、加熱しても壊れにくいとされています。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 43-7880(受付) 43-6200(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	田村 志宣	加藤 寛正	竹井 陽	棚野 祐一	中西 一郎	
		午後					高村 龍一郎	
	内科2(予約制)	午前	竹井 陽	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後			松尾 晃次	岡 宏保		
	内科3(予約制)	午前		辻本 登志英	中村 信男	谷口 友志	加藤 寛正	
		午後	中村信(第2・4)	木下 正博	中村 信男	山崎 幸茂 (診察料内料1使用)	加藤 寛正	
内科	内科4(予約制)	午前		松本 潤	棚野 祐一	北口 勝司 (予約不要)	北口 勝司 (予約不要)	
		午後	松本 潤	北口 勝司 (予約不要)	山下 泰伸	竹井 陽 (禁煙外来)		
内科	内科5(予約制)	午前			谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後			谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科／消化器外科		午前	高見 尚郁 (手術時休診)	加藤 俊治 (外科・鼠蹊ヘルニア外来)		加藤 俊治	高見 尚郁 (手術時休診)	
		午後			加藤 俊治 (予約15:00~)		当番医	
整形外科1(予約制)		午前	橋村 剛		小池 達也		岩切 健太郎	
		午後				杉林 遼一		
整形外科2		午前	杉林 遼一	岡野 匠志	橋村 剛	杉林 遼一	橋村 剛	
整形外科3(予約制)		午前			岡野 匠志			
リウマチ専門外来(予約制)		午前		小池 達也		小池 達也		
装具外来		午前		装具外来(風呂谷)		装具外来(風呂谷)		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋		
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
乳腺外科		午前	粉川 康三	粉川 康三		粉川(予約)	粉川(康三 (予約外10:30まで))	
脳神経内科(予約制)		午前	中西 一郎 (予約不要)					
		午後	石口 宏		小口 健			
泌尿器科		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀		木村 泰典	
		午後	川嶋 秀紀		木村 泰典			
泌尿器科(専門外来)		午後		川嶋 秀紀 (泌尿器癌相談外来)		川嶋 秀紀 (神経因性膀胱女性泌尿器科)		
皮膚科		午前					県立医大	
		午後	県立医大					
眼科		午後		田中 公子		第135回公子 / 第24回上院		
耳鼻咽喉科(予約制)		午後				県立医大		
脳神経外科		午前		中井 三量	尾崎 充宣			
		午後			中北(予約)			
循環器外来(予約制)		午前		中村 信男	北口 勝司 (予約不要)			
		午後	中村信(第2・4)	北口 勝司 (予約不要)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来(予約制)		午前				松尾 晃次		
		午後						
消化器専門外来		午前		加藤 寛正	谷口 友志	谷口 友志	加藤 寛正	
		午後			谷口／山下		谷口／加藤	
循環器・高血圧専門外来(予約制)		午前					担当医(月2回)	
膠原病・糖尿病専門外来(予約制)		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
リハビリテーション専門外来(予約制)		午後				風呂谷 容平		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	風呂谷 容平	担当医	風呂谷 容平	風呂谷 容平	
		午後	國部 久也	棚野 祐一	谷口 友志	國部 久也	松尾 晃次	

※水・金曜日午後 眼科…予約外は先着5名までとさせていただいております。※診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。

2024.1~

●休診 土曜日午後・日祝

※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。

	受付時間	診療時間
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00
循環器外来(水)	(予約制)	9:00～11:30 14:00～16:30
皮膚科(月)	13:00～15:15	13:00～15:30
眼科(水)(金)	13:30～15:30	14:00～16:30
耳鼻咽喉科(木)	(予約制)	14:30～17:00
リハビリテーション専門外来(木)	(予約制)	14:00～17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00～12:00

公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西富田クリニツク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎川診療所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川1583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日置診療所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三舞診療所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川添診療所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
■通所リハビリテーションセンター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189

